

その通販サイト本物ですか！？“偽サイト”に警戒を！！

- 最近の“偽サイト”の見分け方を知って、危険を回避しましょう！ -

インターネット通販で「注文した商品が届かない」「商品は届いたが偽物だった」「販売業者の連絡先がわからない」「注文後に偽通販サイトだったことに気がついた」など「偽通販サイト」に関する相談が寄せられています。



冷静に
対応！

偽サイトのチェックポイント

- サイトのURLの表記がおかしい
- 日本語の字体、文章表現がおかしい
- 販売価格が大幅に割引されている
- 事業者の住所の記載がない・住所が虚偽
- 事業者への連絡方法が、問い合わせフォームやフリーメールだけ
- 支払い方法がクレジットカード決済のみ、銀行口座等への前払いのみ、代金引換サービスのみなど、支払い方法が限定されている
- 通販サイト内のリンクが適切に機能しない



商品が
届かない

など

素早く
対処！

偽サイトの特徴とトラブル対処法

支払い方法	クレジットカード	銀行口座等への前払い	代金引換サービス
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・不正利用のおそれあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り込みの銀行口座が個人名義、外国人名義 	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配業者等からの返金は困難 ・送付状に発送代行業者が記載されている
注文商品	<ul style="list-style-type: none"> ・届かない ・外国からアクセサリ等が届くケースあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・届かない 	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配業者に代金を支払って商品を受け取る ・届く商品は偽物
対処法	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐにクレジットカード会社に連絡 ・利用明細を定期的に確認（不正利用の被害を早期に把握） 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに振込先金融機関の窓口連絡し、振り込め詐欺救済法による救済を求める ・最寄りの警察に被害を届け出る 	<ul style="list-style-type: none"> ・注文直後の場合、電子メールでキャンセル連絡 ・支払い前の場合、送り状の「依頼人」が販売業者と違う場合は受け取り拒否 など

不安に思った場合は、消費者ホットライン「188」へ！



独立行政法人
国民生活センター（2023年1月）